

組立設置説明書

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や施工業者に依頼してください。組み立てるにあたり、手袋・プラスドライバー・スパナ等を別途ご用意ください。その他の準備品は「別途ご用意いただくもの」をご参照ください。

施工業者様へ

お客様の安全のため取付場所の強度には、本機の荷重に耐えるよう十分ご注意の上、設計施工をお願いいたします。取付場所の構造や強度は、設置毎で異なりますので、施工業者様が調査の上、最適な取付方法を選択し施工を行ってください。

●設置後は、この組立設置説明書と添付の取扱説明書および保証書を使用者（運用責任者）へお渡しください。



LT-120VG_ESeco
LT-123WG_ESeco



もくじ

安全上のご注意	2~3
仕様	4
付属品の確認	5
別途ご用意いただくもの	6
設置要領	6~8


■ この組立設置説明書と取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用後は保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。


安全上のご注意

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

警告



長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

長期使用により設置場所の強度が不足すると本機が落下してけがの原因となります。



荷重に耐えられない場所に取り付けない

取付部の強度が弱いと本機が落下してけがの原因となります。



分解禁止

分解や修理・改造をしない

本体の脱落の原因になります。

修理は、取扱店または当社までご相談ください。





火気厳禁

ストーブなど熱源の近くで使用しない


スクリーンは火気に弱いので、焼損や火災の原因になります。


警告


 **スクリーンを無理に引き出さない**
本体または機構が破損したり、スクリーン生地が脱落する原因になります。


 **スクリーンにぶら下がったり、物を掛けたりしない**
本体またはスクリーンの破損の原因になり、危険も伴います。

注意

 **STOP ラベル位置以上にスクリーンを引き出さない**
STOP ラベルを超えてスクリーンを引き出すと、スクリーン生地が脱落する原因になります。

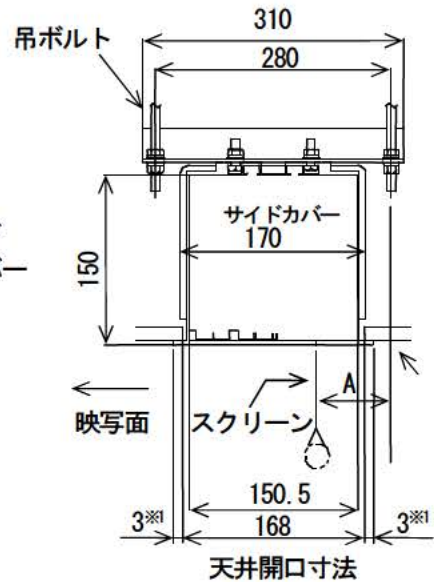
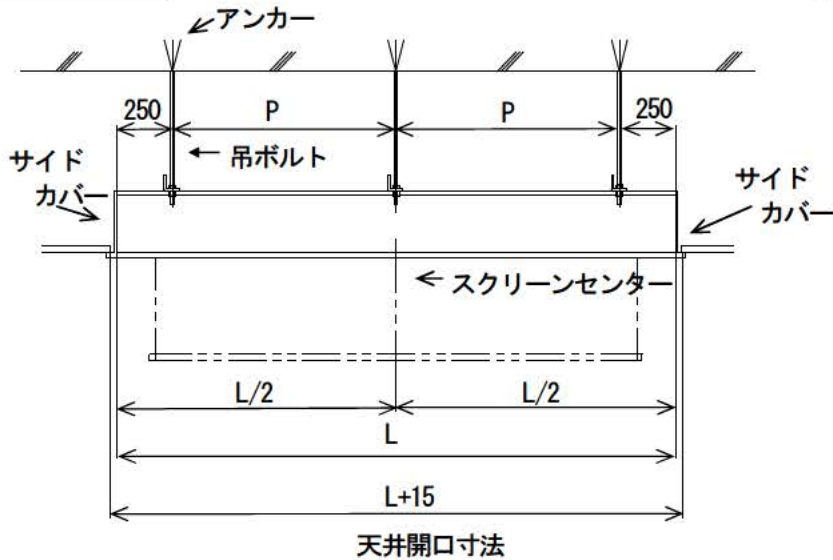
 **製品の動く範囲内に動きを妨げるものや、壊れやすいものを置かない**
製品や置いたものが破損する原因になります。

 **スクリーンに鋭利な刃物、尖った金属等を近づけない**
破損の原因になります。

 **使用後は必ずスクリーンをケースに収納する**
長時間引き出したままにすると、スクリーン生地が脱落する原因になります。

取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

仕様



型式	L (mm)	P (mm)	質量 (kg)	A 寸法 (mm)
LT-120VG_ESeco	2880	1190	28.2	118
LT-123WG_ESeco	3100	1300	29.6	118

※ 1 アルミボックスを後施工で取り付ける場合のサイドカバー部切り込み寸法

- ※ アンカー取り付けピッチ (P) は、 $L \geq 4000$ mm(3等分)は吊ボルト前後各4ヶ所の取り付けです。
- ※ 上記オーエスセイフEシリーズの製品は、エコマーク商品です。
エコマーク商品「セイフE」は、スクリーン生地にケミカルリサイクル繊維51%を使用したESecoを採用しています。



※ 仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

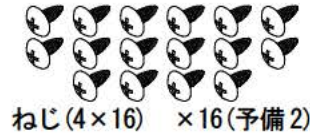
付属品の確認



パネル ×2



カバー ×1



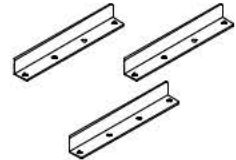
ねじ (4×16) ×16 (予備 2)



吊ボルト (W3/8×1000) ×6



ボルト (M10×30) ×6



取付金具 ×3



平座金 A (呼び 10) ×6



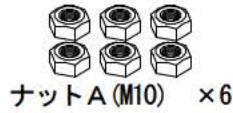
ばね座金 B (呼び 10) ×6



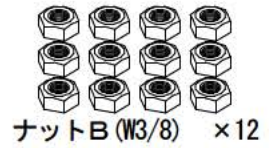
平座金 C (W3/8) ×12



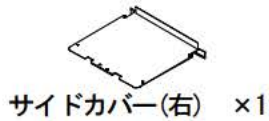
ばね座金 D (W3/8) ×6



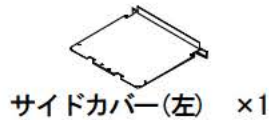
ナット A (M10) ×6



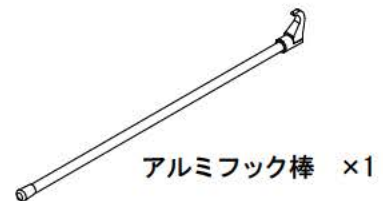
ナット B (W3/8) ×12



サイドカバー (右) ×1



サイドカバー (左) ×1



アルミフック棒 ×1

※別途“保護カバー”と記載しているダンボールは、周辺工事のほこり混入防止のため、設置完了後使用します。

別途ご用意いただくもの

設置するにあたり、以下の部品および工具をあらかじめご用意ください。

- コンクリート天井・壁面への設置例
 - 後打ち式めねじ形メカニカルアンカー (W3/8 埋込み長さ=45 以上) 6本
 - コンクリート穴あけ用ドリル
 - スパナ (17番)
 - プラスドライバー
 - 手袋

設置要領




[はじめに] パーツには取り付け箇所、取り付け方向が決まっていますので図および説明文をよく確認して組み立ててください。

- ※ スクリーン本体はアルミ天板に取り付けず、傷のつかないように置いておきます。
- ※ ねじを締め付ける際、インパクトドライバーは使用しないでください。ねじが破損する恐れがあります。

1. アンカーの取り付け

吊ボルトの位置に合わせ、市販品の「後打ち式めねじ形メカニカルアンカー (W3/8 埋込み長さ=45 以上)」をメーカーが指定する施工方法で確実に取り付けます。

●取り付け例

- 1) 指定通りの穴を開けます。
- 2) アンカーを打ち込みます。
- 3) 吊ボルトを取り付けます。

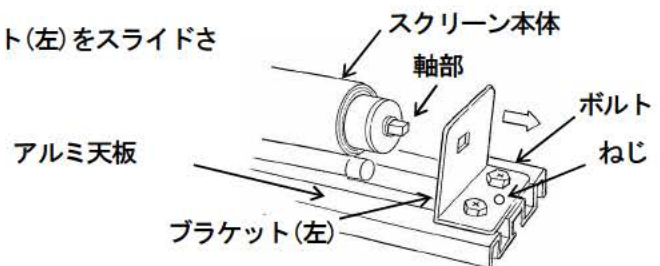
2. アルミ天板からのスクリーンの取り外し

- 1) スクリーン生地を約 30 cm 引き出して戻し、ロックがかかっている事を確認します。

⚠ 注意

- ※ 必ずロックがかかっている事を確認してください。ロックがかかっていないとばねが急にもどり、けがをする恐れがあります。
- ※ スクリーン生地に触れないでください。スクリーン生地にシワが入る原因となります。
- ※ 軸部に触れないでください。ロックが解除され、けがをする恐れがあります。

- 2) ねじを取り外します。次にボルトを緩めてブラケット(左)をスライドさせて本体を取り外します。



ロックがはずれた場合の対応

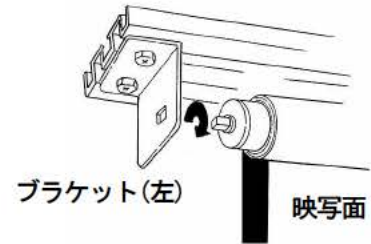
ロックがはずれてバネが戻った場合、ブラケット（左）側の軸部をスパナ等で時計回りに回して調整してください。この時、ロックを確認しながら慎重にバネを巻いてください。バネが勢いよく戻り、けが等の恐れがあります。

型式	LT-120VG_ESeco	LT-123WG_ESeco
巻数(回)	6	5

※表の巻数は目安です。

巻数は生地の種類などにより異なりますので、一度取り付けてスクリーンの上げ下げを行い、巻き取りが強いまたは弱い場合は、バネの巻数を±1~2回の加減調整（巻き取りが弱い場合は時計回りに、強い場合は反時計回りに）してください。

3) 後の「3. アルミボックスの組み立て」の2)工程のため、天板の前後がわかるように印を付けておいてください。



3. アルミボックスの組み立て

【はじめに】 パーツには取り付け箇所、取り付け方向が決まっていますので図および説明文をよく確認して組み立ててください。

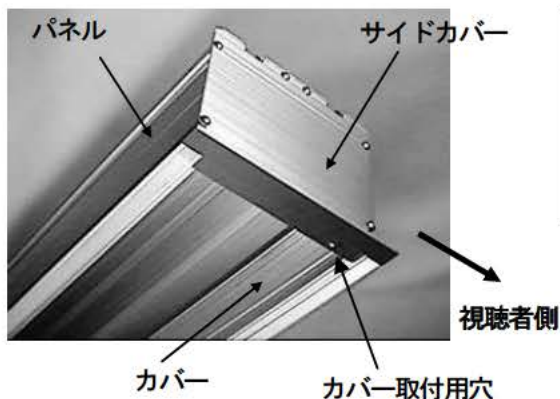
1) 所定の長さに切断した吊ボルトをスラブのアンカーに取り付けます。

2) アルミ天板にパネルを取り付けます。

3) カバーをアルミ天板の上に置いておき、アルミ天板とサイドカバー（右）（左）をねじ6本で取り付けます。

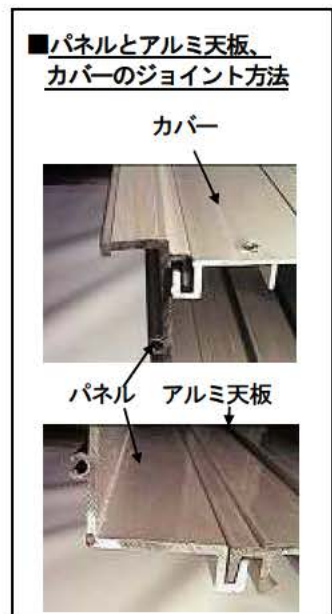
※ パネルとアルミ天板 カバーのジョイントは右図『パネルとアルミ天板、カバーのジョイント方法』に示す通りです。

4) アルミ天板部を上方向にします。次にアルミ天板溝部にボルトを各3本、計6本差し込みます。



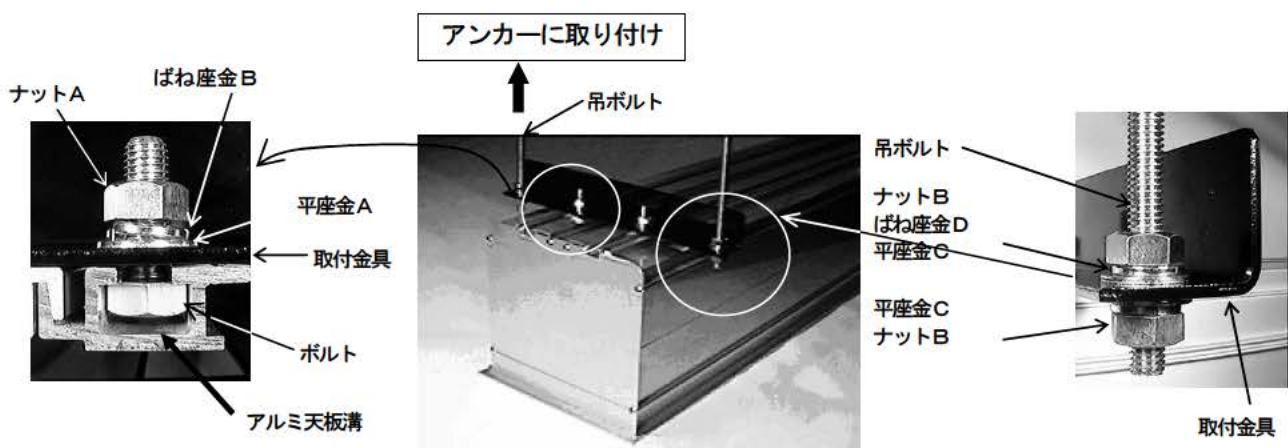
△ 注意
カバーは必ずねじでサイドカバー（左）（右）に確実に固定してください。脱落による傷害の恐れがあります。

※サイドカバーは、カバー取付用穴の加工されている方が、視聴者側となります。



5) 差し込んだボルトを吊ボルト位置に合わせ、取付金具・平座金A・ばね座金B・ナットAで取り付けます。

6) 吊ボルトに本体を平座金C・ばね座金D・ナットBの順で確実に固定します。



4. アルミ天板へのスクリーンの取り付け

⚠ 注意

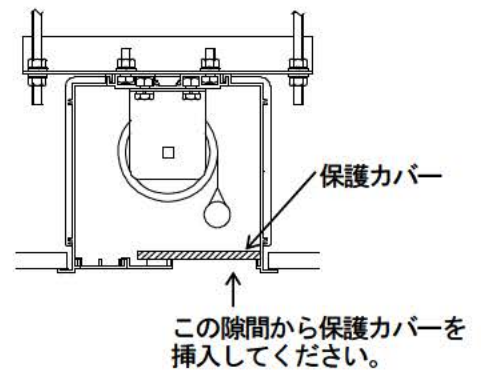
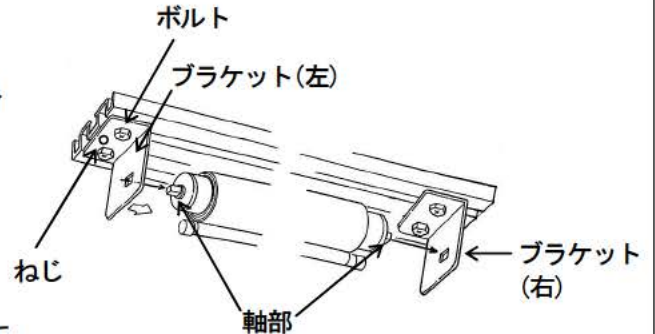
- ※ 必ずロックがかかっている事を確認してください。ロックがかかっていないとばねが急にもどり、けがをする恐れがあります。
- ※ スクリーン生地に触れないでください。スクリーン生地にシワが入る原因となります。
- ※ 軸部に触れないでください。ロックが解除され、けがをする恐れがあります。

- 1) ブラケット(右)にスクリーンの軸部を差し込みます。
- 2) ブラケット(左)をスライドさせ、軸部に挿入し最初に取り外しねじを締め付けます。次にボルトを締め付けます。
- 3) 最後にカバーをねじでサイドカバー(右)(左)にしっかりと固定します。

5. 保護カバーの取り付け

周辺の工事期間中、ほこり等からスクリーンを保護するために、右図の位置に保護カバーをセットしてください。
周辺工事終了後は保護カバーを取り外してください。

- ※ 取り付けの際、スクリーンにキズの付かない様十分注意してください。



株式会社オーエス 株式会社オーエスプラス*e*

コンタクトセンター

〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18

TEL:0120-380-495 FAX:0120-380-496

(受付時間: 平日 9:00~18:00 ※土日祝日を除く)

E-mail: info@os-worldwide.com

※フリーダイヤルに接続できないお客様は、ご面倒ですが下記電話番号までおかけください。

TEL:03-3629-5211 FAX:03-3629-5214